

令和4年度第5回国分寺市青少年問題協議会

日 時：令和4年11月25日（金） 午後2時から

場 所：国分寺市役所 書庫棟会議室（オンラインによる会議併用）

出席委員：宮田万利子（会長），成瀬大輔（副会長），中村俊雄，田中久美子，彌永大介，
青木伸道，波田桃子，辻川幸広，坂井由利子

事務局：子ども家庭部子ども若者計画課（千葉課長・城内係長・山根・井手）

傍聴者：

会 長：それでは，5，6分ほど遅れてしまいました，これから青少年問題協議会を開催させていただきたいと思えます。

すみません，今日はこの画面の中から失礼いたします。私事で申し訳ありませんが，実はコロナの濃厚接触者になってしましまして，会場のほうに伺えませんでした。Zoomでの参加になります。どうぞよろしくお願いいたします。

協議会を開催するに当たり，本日の協議会の成立と資料について，事務局から報告がありますので，お願いいたします。

事務局：それでは，本日の協議会の成立について，まず御報告させていただきます。

委員11名中，現在，出席委員がこの会議場には6名，それからオンライン2名の合計8名，それから，欠席委員が3名という形で委員の過半数出席がございますので，国分寺市青少年問題協議会条例第5条の規定により，本日の会議が成立することを確認いたしました。よろしくをお願いいたします。

また，資料につきましては，資料1から6，あと次第の計7部お配りさせていただいております。不足等はないでしょうか。オンラインで御参加いただいている方につきましては，メールで同じ資料を送付させていただいているかと思えますので，御確認をお願いいたします。特に不足等なければ，進めさせていただければと思えます。

では，会の成立と資料の確認のほうは以上になります。

会 長：ありがとうございます。

資料については大丈夫でしょうか。開会の確認ができましたので，これより令和4年度第5回国分寺市青少年問題協議会を開会いたします。本日は2期，2年の最後の回に当たりますので，また引き続き皆さんの御協力を頂いて協議会を進めていきたいと思えます。

大変申し訳ないのですが，画面上で進行しづらい部分もありますので，これから先は副会長のほうに進行をお願いしたいと思います。すみません。よろしくをお願いいたします。

委員：承知いたしました。それでは、不慣れではございますけれども、私のほうから進めさせていただきます。

では、2の協議事項（1）「今期作成する成果物について」、審議を今日最終ということで進めたいと思います。事前に皆様のお手元にもメールでこの成果物が送付されているかと思えます。そちらにもポスターの形でいただいておりますけれども、それぞれの案について、まず事務局のほうで補足説明等ございますか。

事務局：そうしましたら、資料1から3のポスターの部分について、補足等させていただければと思います。

前回の協議会の際に、まず1から3全てに共通して変更させていただいた箇所が「子どものみなさんへ」というところのQRの飛び先というのですね、ページ先が学校指導課のほうで協力頂きまして、子ども専用のPDFの場所に飛ぶようにページを作ってくださいましたので、そこに変更させていただいております。なので、ページ先は後ほど御確認頂ければと思います。

資料1につきましては、前回の第4回の資料1と同じ、「地域でやさしく育てよう子どもの心」の字体は変えず、イラストとテーマの文字の部分の距離をちょっと離すという形の御意見を頂いておりましたので、そこを修正させていただいております。また、QRコードの下にはホームページのURLを載せたらどうかという御意見等もありましたので載せさせていただき、あとは文言を皆様にお考えいただいたところを、修正を反映させていただいているのが大きな変更点になるかと思えます。あと、下の帯は、今まではオレンジ色になっていたかと思うのですが、白ベースのものでちょっと変更させていただいているイメージになります。

資料2につきましては、ちょっと丸みを持たせた字のほうがいいかもしれないという御意見もありましたので、テーマの言葉の字体を変えております。また「心」というところにはハートのマークを入れてみたらどうかという御意見もありましたので、入れさせていただいております。

それから、QRのちょっと下のところを御覧頂ければと思うのですが、「子どものみなさんへ」というところはホームページのURL、あと「地域のみなさんへ」と「子育て中のみなさんへ」というところについてはこの検索マークみたいになっているのですが、ここにつきましては、「子どものみなさんへ」というページのみ、どうしても引かかるいいワードが見つからないということがありまして、QRになっております。ほかの2つについては、検索すると大体一番上にこのページが出てくるので、この検索ワードを入れておりますが、ここも協議頂きたいということで、あえてバラバラの表記にはなっていますが、このように入れさせていただいております。色はオレンジベースのものにさせていただいております。

最後、資料3になります。こちらは色をオレンジではなくてピンクベースのものはどうかという御意見もありましたので、ピンクベースのものにするのと、あと、ハートマークを入れるという御意見もありましたので、こちらは大きめのハートのマークを入れさせていただいております。

大きな見た目上の修正につきましてはそのような形になっておりまして、最初にここからどうかということもありますし、もしくはこれとこれを組み合わせるといったイメージを御意見頂いて、おまとめいただければと考えております。

また、そのほか質問ありましたら、ぜひ御質問いただければと思います。以上になります。

委員：ありがとうございます。それでは今御説明いただいた形で、この3つの案からどれかという御意見でもいいですし、この点もうちょっとミックスしたほうがいいのではないかとか、この案についてこういうふうに直したほうがいいのではないかとか、何でも御意見をおっしゃっていただければと思いますが、皆様いかがでしょうか。

委員：私、いいですか。

事務局：すみません、本日オンライン参加の方がいらっしゃるのので、いつもよりマイクに向かって御発言いただけるとういかなと思います。御協力お願いします。

委員：こちらの案を拝見して、前回の協議のときに、まずキャッチコピーの字体が内容と比べた分ちょっと少し角がついていてきつい印象があるみたいなお話しがあったので、資料2の案になっていると思うのですがけれども、私の個人的な感覚かもしれませんが、この資料2の字体のほうが優しい感じがしていかなというのがまず1つです。

もう1つは、イラストのバランスですね。資料1のイラストのほうが、みんなが集まっていっていいかなという感じがしました。資料2のほうは右上のママさんと子どもと左上のパパさんとお嬢ちゃんがちょっと離れている感じがするので、個人的には資料1のみんなが集まっているほうがいいかなと感じました。

あとちょっと細かいのですが、下の資料の飛び先です。飛び先はこのURLを表示しても、それを見た人がこれを全部打ち込んでみるとは思えないです。そこまで手間はかけたくないと思うので、資料2のハンドブックと子育てガイドはこういうふうにQRと検索マークがいいと思うのです。一番の左の「子どものみなさんへ」のところは皆さんに御相談ですけど、URLはなくてもいいかなという感じはしています。これだけ長いURLを打ち込むことはないかなと思ったので、個人的な意見ですがけれども。

全体的に色味というかイラストの色味は、僕は資料1、資料2のオレンジ系のほうがいいかなと感じます。以上です。

委員：ありがとうございます。幾つかの項目、おっしゃっていただいてありがとうございます。

まず字体をどうするかというお話と、あとは「子どものみなさんへ」のURLを載せるのかどうか、あるいは全体の色味ですね。ピンクバージョンも作っていただいていますけれども、どちらがじっくりくるなというところも御意見、皆様からも頂ければと思います。ほかの皆さん、いかがでしょうか。

事務局：事務局です。今日欠席の委員から、デザインについての御意見も頂いておりましたので、代わりに発表させていただければと思います。

まずお一人目の委員からの御意見になりますが、「資料1がいいと思います。資料2と3の文字には優しさを感じられるのですけれども、メッセージを伝えるという視点で考えると、資料1が3つの中では一番いいかなと感じました。ただ最終的には、この委員での決定内容を尊重したいと考えております」という伝言を受けております。

事務局：もうお一人の委員からは、「資料2のテイストがいいのではないか」という御意見でした。

事務局：以上2名から御意見頂いておりますので、共有させていただきました。

委員：ありがとうございます。まず、今お話をお伺いして、全体の色味、オレンジとピンクと2バージョンを作っていただいていますけれども、何となくオレンジのほうがいいのではないかという意見のほうが優勢のようなイメージもあります。逆にピンクのほうがいいのではないかという御意見の方、いらっしゃいますか。あるいは、色味を少し変えたほうがいいのではないかとかですね。皆さんオレンジでじっくりくるのではないかなという御意見でしょうか。そうしますと全体の色味としては、オレンジをベースにするという方向で話を進めさせていただきたいと思います。

今、結構重要なポイントといえばポイントなのですが、テーマの字体ですよ。資料1については、ちょっととがっていますけど結構ポップな見目を引く字体であると。資料2については、周りに太さがあって優しい表現であるというか。どちらも甲乙つけがたいというのが私としてもありまして、皆様それぞれ感じられているところがあるのかなと思いますが、いかがでしょうか。

委員：私はやはり資料2をベースにして、資料1の人間の配置のほうがいいと思うのですね。「子どものみなさんへ」というこんなに細かいのは子どもが見るとは限らないと思うのです。ここはもう少し簡単にしたほうがいいと思います。やはり白味をベースにして、この人間の配置はやはり資料1の配置でいいと思います。

委員：そうですね。配置の部分も重要ですよね。

委員：みんな一緒に並んで、みんなで作ろうというのではなく、下手したら2人が

入っていない感じがするのですね。このほうが分かりやすいのではないかと
思います。

委員：ありがとうございます。恐らく資料1と2、人の配置がまとまっているのか、
ちょっとテーマを囲むような配置に工夫されたのかなというイメージもあり
ますが、どちらかというとな皆さんそろっているやつのほうが、地域感が出て
いいのではないかと御意見を頂いております。この人の配置については
いかがでしょうか。資料2のテーマを囲むほうがいいのではないかと御
意見の方はいらっしゃいますか。

御意見、大丈夫そうですね。では、図柄については、資料1のまとまって
いる図、人が集まっている図を使うということで進めたいと思います。

一番悩ましいのは字体をどうするかで、今、資料2と1、それぞれ御意見
がありますが、ほかの皆様いかがでしょうか。

委員：優しい感じの字体は私もいいなと思ったのです。ただ、遠くから見るとやは
り目を引くのはこっちの新しい字体かなと思って。「心」という字も、子ど
もからしてみると「心」はこっちの「心」のほうが字になっているのかなと
思うので、どちらも選びがたい感じです。

ついでで申し訳ないのですが、一列に並ぶのはすごくいいと思っている
のですが、例えば、ベビーカーのお母さんは、ちょっと後ろに下がっている
感じがするのですが、ベビーカーを前に持ってきてもらえると、この資料1
と2に比べると、バッグ持っている人も資料2の方が寄っているから、この
辺場所をちょっといじっていただけのかなと思って、ベビーカー控え目で
はないほうがいいかなと思いました。

委員：ありがとうございます。その辺り調整は可能ですか、イラストの一部分を
ちょっと前に。

事務局：イラストの一部分をいじるのは可能です。

委員：ありがとうございます。今、遠くから見たときどうなるかという視点も頂き
まして、ありがとうございます。

その他、御意見いかがでしょうか。

委員：目を引きますよね、非常に。

会長：すみません、遠くから見える感じでちょっとポスターを見せていただいても
いいですか。

事務局：はい。

会長：映っています。ありがとうございます。

事務局：ではカメラ戻します。

事務局：デザインを選ぶ経緯なのですが、資料1のタイトルが、目立つ太い書体です
ので、横にイラストが初めは置いてありました。それを下にまとめてタイト
ルと人を分けています。資料2に関しては、優しい書体にしたので、書体だ

けでは弱く感じてしまいます。横に子育てをしている方たちのイラストを持ってきていますが、これを下げってしまうと、若干この白の余白部分が寂しいというイメージが出るかと思います。

委員：他にいかがでしょうか。

委員：資料3より1のほうが、キャッチコピーもイラストも、それぞれ見やすい感じはします。

委員：そうですね。それぞれのパーツとして分かりやすい気がする。

委員：パッと見たときに。

委員：確かにそうですね。資料1のほうが目を引くインパクトもありますし、スツと言葉も入ってくるイメージはあるかもしれないです。

委員：資料2はちょっと1よりも真面目な感じですね、信頼感があると。資料1のほうが、動きがあるので、インパクトとかで子どもが読んでみようかなという感じはあるかなと感じます。

委員：資料1のほうは字体が踊っていますよね。2と3はちょっと真面目過ぎますね、字体がね。パッと目につく、子どもが見たらちょっと踊っているほうが良いような気がします。

事務局：逆に言うと、信頼感はある。

委員：情報そのものが信頼できる。

事務局：オレンジのカラーのイメージも、親しみだったり家族だったり暖かい・陽気というカラーイメージがありますので、すごく合っているかと思っています。

委員：ほかにいかがでしょうか。

委員：あと細かいですが、下のQRの真ん中のところがオレンジになっていますね、資料1は。資料2はピンクになっていますよね。これオレンジのほうが全体に一体感とか、色数が多すぎないからまとまり感はあるかなと思いますけどね。複雑な色とかぼかしの色だとか。ピンクではなくオレンジのほうが全体のまとまりがいいかなという感じはします。これもちょっと見方によります。

委員：何となく統一感が、オレンジのほうが出ていいかなという気はいたしますね。そうしますと、皆様、もしどちらか甲乙つけ難いのもあると思いますけれども、パッと見のインパクトやメッセージの捉えやすさで考えますと、資料1の字体で固めるという方向で、会場のほうはよろしいでしょうか。ありがとうございます。下の吹き出しについても、共通的にオレンジのほうがいいのかなと思いますが、その点もよろしいですか。

あと資料2, 3で「心」にハートマーク、あるいは全体に、背景にハートマークを入れて強調したりするとか、工夫していただいていますけれども、資料1の字体だと、少しくどくなったりとかはありますか。

事務局：そうですね。3つ比べてもらうと分かると思うのですが、ベタで大きく広

げてしまうとやはりタイトルが目立たなくなるので、「心」のところに薄く入れる分には問題ないかなと思います。

あと資料1の「心」の書体がちょっと太いので、「何だろう」という感じはします。ハートのへこんだところの角がちょうどうまく合わさるかというのはやってみないと分からないので、どうなるかなと。

委員：結構特徴的な字体なので、これはこれでいいかもしれませんね。

事務局：そうですね。それか、「心」の点点のところをハートにするとかでしたら、まだ目立つかもしれないのですが。

委員：「心」に見えなくなる感じもしますけれど。

事務局：そうですね。書体の特徴もありますので、「何だろう」となってしまうと逆に読めないのもよくないので。

委員：この「心」はやはり独特ですから、これはこれでいいと思いますよ、すごく。

委員：そうしたら、ハートは入れずにシンプルにこの字体を生かす方向でよろしいでしょうか。

1点、私もちょっと気になっていたことを思い出したのですが、下の国分寺市青少年問題協議会の右側の「地域でやさしく育てよう子どもの心」、今期は文章ですけれども、これがある意味唯一文章で青少年問題協議会のメッセージを伝える部分ですけど、背景に囲むような形で色を入れたりとかというのはどうでしょうか。あまり強調しすぎるとガチャガチャしてしまうかなと思うのですが、背景のハートのような、形は楕円のような形で入れて頂くとメッセージの部分が少し見やすいかなと思いました。

事務局：あと最終的には、この周りに罫線が入ります。今は入れていないのですが、実際は最後に入ります。

委員：罫線。

事務局：罫線が入ると、「資料1」という右上の文言が取れてなくなりますね。

委員：罫線は何色ですか。

事務局：罫線は90%ぐらいのグレーにしようかと思っています。

委員：下の「地域でやさしく育てよう子どもの心」のところの文章ですけど、ちょっと読点がなさ過ぎる感じがするので、例えば「今期は」で1回読点を打って、「『地域でやさしく育てよう子どもの心』をテーマに、専門家のお話を聞き、協議を重ねてきました」とか、細かいですけど、もうちょっと点を入れてもいいかなと思いました。あと細かくてすみません、「専門家のお話（おはなし）しを」になっているので、これでもいいのかな、「お話しし」となりませんか。

委員：おかしいですね。

委員：というところ。あと「地域でやさしく育てよう子どもの心」かぎ括弧閉じの後の空白は詰めてしまっていないかなという気もします。細かいんですけど

も。

委員：そうですね、確かにちょっと最初文字がワツとくる感じがありますので、「テーマに、」は要りませんか。入れますか。ちょっとぶつ切りになり過ぎてしまう感じも。「テーマに専門家のお話を聞き、」でつなげてしまってもいいかもしれませんね。何か気になるところ、細かいところはございますか。

委員：URL， どうしますか。検索の代わりはいいと思うのですが。一応入れておきますか。

委員：検索ワードは、これはこれでいいかなと思うのですがね。あまり入れる意味は確かにはないのではないですかね。

委員：中にはそれを打ち込んでやる人がいるかもしれないですけど。

委員：配置のバランスの問題ぐらいですかね。

委員：一応入れておくというのもありかもしれないです。

委員：一応バランス的という意味で残すだけ残しておきましょうかね。そこだけ空間が空いてしまってもバランスがちょっと悪いので、右2つは検索ワードを表記していただいて、「子どものみなさんへ」は、これを子どもが入力するのは考えにくいですが、一応バランス的に残しておくことでよろしいでしょうか。

そのほか、いかがでしょうか。文章も前回考えたものに差し変わっているということですよ。

事務局：そうですね。考えていただいた文章にそれぞれ差し替えさせていただいております。

委員：左下の附属機関の「附属」はこれでいいのですか。

事務局：そうですね。

そうしたら念のため、ずれがないかだけ、今後修正するに当たって確認させていただければと思います。まず、色味は資料1， 2と同じオレンジ色ベースでよいということではよろしいでしょうか。イラストについては資料1のもので、右側のほうにいるベビーカーのお母さんと、バッグを持っているお母さんの位置を入れ替えるということですか、それとも寄せるという意味ではよろしいですか。

委員：前に。

事務局：前という形で立ち位置は同じままでいいですよ、前に来ているように見えるようにちょっとずらさせていただければと思っています。字体については、資料1の字体を使って、ハート等の後ろの背景は入れない。吹き出しについては、資料1の緑、オレンジ、青の3色の吹き出しする。URLについては、資料2の表記の仕方では左の緑の部分についてはURLを載せて、資料2だとピンクになってしまっているのですが、そこはオレンジと青のところについては検索ワードのもので表記する。最後、右下の協議会のメッ

セージというところについては、まず文章を、「今期は、『地域でやさしく育てよう子どもの心』をテーマに専門家のお話し」のしは消して「お話を聞き、協議を重ねてきました」。以下はそのままという形の文章に変えて、ここに背景をちょっと目立つように楕円なのか何かちょっと色味をつけるイメージで間違いないでしょうか。

よろしいですかね。分かりました。そうしたら、今、皆様の確認がとれましたので、会長も大丈夫ですよ。

会 長：はい。大丈夫です。お願いします。

事務局：分かりました。そしたらそれをベースに修正させていただきまして、今日は第5回と最後になっていますので、修正したものを会長・副会長のほうにもう一度最終案という形で上げさせていただいて、整えさせていただいて、決定したら皆様にもメールするという形で進めさせていただけたらと思いますが、そちらでよろしいでしょうか。

会 長：お願いします。

事務局：承知いたしました。ありがとうございます。

そうしましたら、デザインのほうは今、皆様から御意見頂きましたものに修正させていただきまして、今度このポスターをどこに実際配架していくのかを御説明させていただければと思います。

それが資料4になります。こちらが前回、令和2年のときに作ったポスターの配架した先で、今載っている国分寺駅構内掲示板から一番下の22番児童・民生委員まで、場所だったり人だったりというところにお渡しをさせていただいております。

今回につきましては、ポスターをA2サイズのものを作ったほうがいいという御意見も頂いております。最終確定を今日させていただければと思うのですが、A2ポスターサイズをもしお配りするとすれば、例えば国分寺駅構内掲示板だったら、去年はA3でお願いしていたのですが、A3はゼロにさせていただいて、A4のポスターもゼロで、その代わりA2を2枚という形で、場所とサイズと枚数をそれぞれ表記した一覧になっております。

考え方としましては、基本、前期A3で配っていたものを全てA2のところに枚数を移動させていただいたのと、前期A4で配っていた下の20、21、22の青少年委員と青少年育成地区委員会と、児童・民生委員の方については、ポスターというよりかはA4サイズで個別に、何かあったときに渡しやすいようにということで、A4でお配りしていたようですので、今期もそれでいいのかということも併せて確認いただければなと思っています。

A3ポスターを置く依頼の場所も、幾つか私のほうで入れさせていただいております。考え方としては、市の公共施設ですと大きいポスター、もしくは場所が結構埋まってしまっているときもあるのでA3ポスターも一緒にお

配りして、貼りやすいものとか貼る場所が2か所、例えば1階と2階がある施設とかであれば両方貼っていただくこととかを想定して、A2とA3それぞれ配ったらどうかということで地域センター、図書館、公民館、あと学童、児童館、小学校、中学校、子ども家庭支援センターとプレイステーション、最後は青少年育成地区委員のほうも様々イベント等しているときがありますので、そこにA3で貼れるスペースがあれば貼っていただくとか想定して枚数を入れさせていただき、合計A2サイズポスターは92枚、A3サイズポスター81枚、A4ポスターが99枚という案を一旦お示しさせていただきました。こちらについてもうちょっとこうしたほうがいいのかあれば、御意見頂ければと思います。よろしくをお願いします。

委員：ありがとうございます。

委員：c o c o b u n j i プラザ1階というのは、1階の事務所のところのことでしょうか。

事務局：1階の観光案内所みたいなところがあるのですけれども、そこと5階を想定しています。

委員：あと、アクティ・ココブンジあるじゃないですか。あそこも子どもとかがよく利用されていますよね。あそこに1枚置かれたらいいと思いますが。

事務局：アクティ・ココブンジ。

委員：あそこの3階ですね。マンション。あそこに置かれたらいいと思う。

委員：ありがとうございます。こういうところがいいのではないかと、御質問でも、気になるところ、ありますでしょうか。

委員：東元町のさわやか。市の施設だと思いますけど、いきいきセンターがありますよね、あそこの、不動産の横。

事務局：いきいきセンター。

委員：さわやかがありますね。東元町の二丁目の国分寺街道に面したところ。あれ市の施設ですよ。

事務局：すみません、確認します。

会長：すみません。21番の青少年育成の地区委員ですが、それぞれの地区で拠点にしている場所が特にないので、A2ポスターは要らないと思っているのです。12月に5地区の連絡会がありますので、そのときに確認でもよろしいでしょうか。

事務局：A2が要るか要らないかというところですかね。

会長：はい、そうです。

事務局：分かりました。トータルの枚数にもよります。あとA2が要るか要らないかも後ほど確定いただければと思うのですが、恐らく100枚で発注する形に、この数ですとなると思いますので、配らない分は、子ども若者計画課で何枚か持っておいてイベント等で貼り出すという使い方をする予定ですので、大

丈夫かと思えます。

会 長：はい、分かりました。では、連絡会のときに確認します。

事務局：教えていただければと思います。

会 長：はい。お願いします。

委 員：すみません、今のA2が必要ないという理由を教えてくださいませんか。

事務局：青少年育成地区のところですよ。

委 員：はい。これが要らない理由を教えてくださいませんか。

会 長：ポスターとして貼るとのことですよ。

委 員：はい。

会 長：青少年育成地区委員会は、以前にもお話ししたのですが、東・西・南・北・中央と5つの地区に中学校区ごとに分かれておりまして、例えば私は中央地区ですが、中央地区は一中学区内の三小・五小・九小、そこを対象にイベントをいつも行っているのです。イベント自体が「ここでやります」と場所とかもいつも決まっているわけではないので、貼る場所も、例えば公民館とか学校とかほかのところと重なってしまうのです。ですので、ポスターとしては必要ないかなと思っています。

委 員：でも、単純に大きく貼り出すほうが伝わらないですか。貼れるのだったら大きく貼り出したほうがよくないですか。

会 長：なので、今、事務局がおっしゃっていたのですけれども、イベントのときに貼り出すというお話もありましたので、連絡会のほうでそちらのほうも確認させていただきたいかなと思っています。

委 員：すみません、ちょっと私も言い過ぎかもしれないけど、もともとできるだけ大きく貼って、ポスターとしてきちんと伝わるようにしようという意図があったと思うので、わざと小さくしなくてもいいのではないかなと僕は思うのですけど。貼れるなら大きく貼ってあげたほうがいいのではないかなと僕は思います。

会 長：そういうことですね。例えばここに書いてある施設とかですとしっかり大きいのを貼っていただいたほうがいいかなと思うのですが、青少年育成地区委員としては、そういった施設をお借りして活動していることが多いので、そこに大きく貼っていただければそれでいいのかなと思っています。御理解できますか。分からないですか。

委 員：ちょっと分からない。小中学校では貼る場所がないのでしょうか。

会 長：小中学校でも貼りますよね。

委 員：もう既に。

会 長：小中学校にA2サイズお渡しするという事になっていますので。

委 員：それは、なっているということですね。最初にポスターを貼らないとおっしゃったのはどういう意味ですか。

会 長：公民館とか地域センターも貼る枚数が入っていますので。

委 員：恐らく既存の場所に、イベントごとには何か貼り出すにしても、もう既にA2ポスターが配布されている場所に、同じA2を貼る必要性まではないのかなという御趣旨なのかと理解しています。

会 長：はい、そうです。

委 員：イベントごとにA2を貼ったほうがいいのかという御意見なのかな。

委 員：イベント以外には貼らないということですか。

委 員：貼る場所がないと。

委 員：ないのですか。

委 員：箱物の居場所がない。

委 員：ここはそもそも場所がないという。

事 務 局：そうですね、地区委員会の会議室とか建物自体がなくて、皆さんそれぞれの地区で集まって、それぞれイベントや会議するにしても、どこか会議室を借りてやっていただいているところがあるので。そのイベントの際に使いやすい大きさをと思って全サイズ、私のほうで入れさせていただいたのですが、A2がもしかしたらもともと、節約という観点もあるのかもしれないですけども、という御意見かなと感じました。そのような感じですかね。

委 員：何でポスターにしたかという、できるだけ大きく示してみんなの目にとまるようにしようという話があったから、僕もポスターに賛成したし、効果的かなと思ったのですよ。大きいから使いづらいとかを前提にしないでいい気はしますね。貼れるなら貼っていただいたほうがいいのかから、最初から貼らない前提ではなくてもいいかなという気はしますけどね。

委 員：場所がないと言っている。

委 員：場所は作れる。

委 員：この地区委員の人たちは、この人たちで持っている場所がないからと言っているわけだから。

委 員：地区委員というのは、この中のリストだと、どのことを地区委員と言っているのですか。

委 員：一番下から2番目です。

委 員：地区委員というのは役なのですか。

事 務 局：そうです。

委 員：分かりました。

事 務 局：21番の。

委 員：ちょっと勘違いで。A2自体を全部やめるのかなと聞こえたから。地区委員のところだけですね。

事 務 局：そうですね。

委 員：21番だけということ。

委員：分かりました，すみません。

委員：いいですか。私もあまり近くに市民プールがあって，あと，体育施設もほかにあるのですかね，国分寺市に。

事務局：市民スポーツセンターです。

委員：センターですかね。そこも子どもたちが集まる地域のイベントとかも，子どもたちを中心にしたイベントとかもやっているかなと思います。そこも貼っていただければいいかなと思いました。

事務局：はい。

委員：デジタルサイネージは年間通して流していただけると聞いたのですけれども。

事務局：期間が定まっていますので，その期間ごとに更新であったりそのとき使用したいほかの課だったり依頼がなければ，もう一度更新とかできると思うのですけど。少なくとも1タームですかね。

委員：1タームは何か月ぐらい。

事務局：そこは確認をしてという形になります，すみません。

委員：デジタルサイネージが設置されている場所はどこなのでしたっけ。

事務局：国分寺駅のところもありますし，あとc o c o b u n j iプラザの中にも。

委員：プラザの中にも。

事務局：正確な場所は確認します。

委員：いいですか。公的な場にとということで限定的に見えるのだけれども，公的ではなくとも子どもたちを集める場というものがあるとしたら，子どもたちにご飯食べさせる場所とか，いろいろな施設はあるのだと。国分寺にどういうものがあるか僕は知らないのだけれども，私的な施設であってもこういうものは載せてもらったらどうなのかなと思います。公的なものではあるけど，と思います。

事務局：分かりました。

委員：1つ私も同じようなことを考えていまして，協議会のメンバーでふだん自分たちが関わっているところで，こういうところ貼れるなというところがあったら何枚か頂いて貼るのはあり得るかなと思ったのです。直接市のほうからこういう民間の子どもの居場所とかに，国分寺はそんなに多くはないのかどうか分からないですけど，貼ってもらうというのは考えにくいですか。

事務局：周知できる場所も，委員がおっしゃっていただいておりますので，関連しそうなところにはお願いしつつ，まずはほぼ了承をもらえるだろうというところをリストにさせていただいております。それから今，委員おっしゃっていただいたように，皆様のほうで，ここ協力してくれそうなどこあるよというところがあれば，必要部数をおっしゃっていただいて，お渡しさせていただければと思います。ただA2サイズのポスターについては，予算を急遽対応した形になるので，上限を100枚としており，そのサイズは御対応が

できない場合もあるかもしれませんが、A3とA4は多少余裕があります。そんな形で皆様にちょっと御協力を頂けると、より今回作ったものが広く世の中に見ていただけるかなと思っております。

委員：人が集まる場所だったら、国分寺駅や、恋ヶ窪の駅とかですね、駅の構内とか、人がたくさん集まって出入りするところがいいと思うのですね。もちろんお子さんが集まってくるでしょうから。もう少し工夫して、公だけではなくて、ある程度協力してもらえようなところ、郵便局とか銀行とか、そういうところだっていいと思うのですね。例えばスーパーの入り口のところに貼らせてもらうとか。皆さん多分協力してもらえと思うのですね。別に変なものを貼るわけではないですから。そういうこともちょっと御努力されたほうがいいと思います。

事務局：そうですね。なので、例えば青少年問題協議会の皆さん、17番に入れさせていただいているのですけれども、そこに枚数、例えばある程度確保してご協力頂くことも、枚数増やして考えることも1つかなと。

委員：送っていただいたらパネル貼れるようなところをお願いして、貼らせてもらいますよ。やはりたくさん人が集まる場所に貼ったほうがいいでしょうからね。それから、雨風に当たらない室内、みんな入ってくるようなところにパッと見えるようなところに貼ってくださいと言ったら、大抵協力してもらえんと思いますけど、お店も。

委員：公立私立の保育園なんかは、まだこの中に入っていない。

事務局：この中には入っていないですね。数を入れると結構な数に。

委員：そうですね。

事務局：また、たまたま前期、A3が九十何枚だったので、まずはスライドでA2サイズを100枚とし、今日は御意見をというところ。また、保育園を入れるのであれば、そこも別に駄目というわけではないので、調整をという感じになります。

委員：民間でどこが渡しやすいかなと考えたりしますし、ただ園長会とか何かそういう連絡会議でもあるのですかね。そういうところに。

事務局：ありますので、学童と同じような形で依頼を出させていただいて、保育園に貼ることは、そこはやっていただける見込みがある程度ある施設にはなりません。

委員：ぜひ御検討いただければ。ほか、御意見よろしいでしょうか。

委員：数ではなくて、ポスターに戻ってしまうのですが、「子どものみなさんへ」というところの、「周り」とか「味方」、「困った」が読めない。「頼ってください」というところ。小さいですけど、ルビを入れるとか、せめて緑の吹き出しの「困った」は全部平仮名にしてしまって、「こまったときは」とすれば、何か困ったときにここ見ればいいかなというぐらいの。

「子どもへ」という意味なので、そこを工夫していただけると。

委員：結構文字が小さいと言え小さいですけど、振り仮名を振るとかは。

委員：無理ですか。

事務局：分かりました。

委員：逆に「頼って」を平仮名にしてしまうとか、漢字でなくても。

委員：「周り」もちょっと読みにくいかな。

委員：「周り」は、読まなくても多分「みんながあなたの」となれば、周りであろうが何だろうというのは分かるかな。「頼ってください」というときと「困った時」は平仮名で。

委員：「時」も平仮名でいいかもしれないですね。

委員：平仮名。

事務局：では、「子どものみなさんへ」の中の言葉をもう全部平仮名で書きますか。

委員：全部平仮名だと読みにくくなってしまふかもしれないので、「周り」は漢字のままでも大丈夫。「みんながあなたの味方」というところは結構難しいかもしれない。「味方です」。「困った時」。

事務局：難しいというのは、平仮名にするという意味でよろしいですね。

委員：そうですね、平仮名にする。「困った」も平仮名でいい。「困った時などいつでも頼ってくださいね」。「時」とかちょっと平仮名で。

委員：大体平仮名。

事務局：「時」も平仮名で、「頼る」も平仮名。では、「周り」のとこだけは漢字ということですかね。

委員：例えば上の「困った時など」という、その上の「困った時」は漢字のままで。

事務局：そこは漢字。

委員：吹き出しのところの「困った時」だけを平仮名にしてもらえれば。

事務局：こっちは漢字で。吹き出し、この緑のところを平仮名に。

委員：はい。平仮名にさせていただきます。

事務局：最終確認というか、もう一度確認ですけど、「周り」の最初は漢字で「味方」は平仮名に変えます。次の文章の「困った時など」の「困った」は漢字で、「時」は平仮名。「などいつでも頼ってください」のところは平仮名に変える。緑の吹き出しのところは平仮名で「こまったときはこちら」にする。

委員：はい。

事務局：皆さんよろしいですか。

委員：「時」とかだと小2ぐらいで習うんですけど、どうですか、難しいですか、「時」は。

委員：上は別に「困った時」は漢字でも。

委員：あまり平仮名が多過ぎても読みにくいだらうなというのがあって、多分小2ぐらいだったら許容範囲になる気がする。

委員：あとはルビを一律に振るという方法も。

委員：そうですね、ルビを振るということですね。「困る」は小6ですね。「困る」は平仮名でいいかな。

事務局：全てに共通してルビを入れることもできるので、それでも大丈夫ですか。

委員：そうですね。ではルビをお願いします。

事務局：3つともでいいですかね、「子ども」と「地域」と「子育て中」全てに、この上の部分だけルビを振るということ。下の青少年問題協議会の内容については、ちょっと小さくなってしまうのでルビは振れないのですが。

委員：特に「子どものみなさんへ」ですかね。「子どものみなさんへ」の中の文章が、子どもが読めないと困るということ。

事務局：「子ども」の部分だけでいいということですね。

委員：「子ども」の部分だけで。

事務局：そうすると、ルビを振るからこの漢字のままにしてということですかね。

委員：そうですね。結構細かくて。「困った時」という「時」は普通、通知表のときは平仮名ですね。「何々した場合」という意味。

委員：公用語的な発想でいうとこちらは平仮名かもしれない。

事務局：どちらにしても、漢字にして平仮名のルビを上には振るということで、「子どものみなさんへ」のところだけはするというで。

委員：そうですね。

事務局：はい。ではそのようにさせていただきます。

委員：ありがとうございます。では、ポスターの貼り出す場所については、その他、ありますでしょうか。いいでしょうか。では先ほど頂いた御意見を踏まえて、御検討頂くということ。

事務局：はい。

委員：結果については。

事務局：会長・副会長に最初御相談させていただいて、確定したものをまた皆さんに、デザインと配布先という形でお伝えさせていただけたらと思います。

委員：では、そのように進めさせていただきます。ありがとうございます。

事務局：A2は必要ということで、この会としての共通認識でよろしいですね。

委員：A2はぜひ。

事務局：はい、分かりました。ありがとうございます。

委員：成果物についてはおおむね以上の内容でよろしいでしょうか。

では、協議事項、もう1つございまして、(2)で「令和3-4年度国分寺市青少年問題協議会報告書について」という議題について、資料5番以降ですかね、事務局のほうから御説明お願いいたします。

事務局：今回の会議をもちまして、令和3年度から皆さんに御協力いただいていた任期内での会議が最後になる予定になっております。それに当たりまして、最

後、市のほうに報告書をこの協議会から提出することになります。その報告書の案を資料5と資料6で、まずは一旦案を作成させていただきましたので、御確認いただければと思います。

令和2年度のときも同じような報告書を上げていただいております。そのときも成果物がポスターになっておりましたので、報告書のテイストとしましては、前期の文をベースにしながら今期の内容に変えさせていただいたところになります。主には資料5の1番「協議結果」の文の書き方、あと2番の「経緯」の書き方について、まず御確認を頂ければと思います。よろしくお願ひします。

委員：ありがとうございます。シンプルな内容ではございますけれども、今、御覧いただいて、不明点等ございますか。添付はポスターをつけるということでしょうか。

事務局：最終案のものをつける予定になっております。

委員：この資料6番の活動報告概要も報告書に添付されるのですか。

事務局：そうですね、一緒に添付させていただきますして、令和3、4年度の開催日、それから会ごとの協議内容を一覧にしたものになります。

委員：特によろしいでしょうか。では、最後は会長・副会長のほうで決めていただいて、おおむねこの内容で特に変わらないと思いますけれども、対応したいと思います。ありがとうございます。

その他よろしいですかね。

事務局：はい。

委員：3番「その他」ということなのですが、何か事務局から御連絡、御報告はございますか。

事務局：もう一度最終確認になりますが、今回、最後の回となってしまいましたので、今、頂いたデザインの修正案及び配架の一覧の場所など、最後報告書の最終調整のところにつきましては、会長・副会長と整えさせていただきますして、確定したものを皆さんにも共有させていただくということで進めさせていただきたいと思っております。

あとは今日、最後になりますので、次回の案内等はございませんので、事務局からは以上になります。よろしいですか。

委員：では、皆様から特によろしいでしょうか。2年間、いろいろ御議論頂きましてありがとうございます。私も非常に勉強になりました。

最後に会長から何か一言あれば。

会長：本当に2年間、皆様お疲れさまでした。最初のテーマ決めもちょっと時間がかかりましたが、テーマが決まってからは研修をいろいろ行ったり、そしてまた2年目になって成果物を皆さんで考えて、すばらしいポスターができたと思います。本当に皆さん御協力頂いて、ありがとうございました。

もしよろしければ一言ずつ、2年間の感想とかを聞かせていただければと思います。よろしいでしょうか。どうぞ、順番にでも。

委員：では順番に。私も振り返ってみますと結構好き勝手に自分の興味関心踏まえてお話しさせていただいて、非常に勉強になったし面白かったと思っております。どうもありがとうございました。

委員：お世話になりました。子どもたちのためにということで、地域の方とこういうふうにして知り合えたことが、私にとってはとても成果だったなと思えますので、今後とも子どもたちのためにどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員：私もこの2年間、ありがとうございました。青少年問題協議会は普段呼ばれていく会議とは違って、すごく建設的な意見が出て非常に勉強になったというか、会の進め方とかを見ていると上手だなと、まとめ方も非常に上手だなといつも感心して聞いていました。非常に勉強になりました。ありがとうございました。

委員：私はこの4月に着任いたしました。この会議自体も今年度5回あったうちの2回しか参加できませんで、本当に残念だったなと思えます。先ほども少しお話出しましたが、私どもがいつも出る会議、結構重い話が多いのですが、本当に地域の皆様と明るい前向きなお話をもっとしたかったなと思っております。もし次期も呼んでいただけるのであれば、笑顔で、どうぞよろしく願いいたします。

委員：右も左も分からない中において、どう参加したらいいのかよく分からなかった感じですが。ずっと何十年、都の仕事をしていましたから、市の形というのがまだ見えていない。ここに来て30年余りになるのですけれども、市のことは分かっていないなということを感じました。よろしく願いいたします。

委員：皆さん、ありがとうございました。先ほど熱くなってしまって、勘違いして申し訳ないです。この2年間、非常に振り返りますと、やはりこういうの僕好きなのだということを感じまして、地域の皆さんとつながって、みんなで成果を出そうということもそうですし、やはり国分寺の子どもたちの皆さんに何か貢献できるということがやはり好きなのだ改めて実感しました。

私事ですが、今PTA連合会の委員とかいろいろやっていたのですが、来年実は会長をやります。この協議会、またやるかもしれませんが。改めて子どもたちのために、地域みんなのためにやれることをやろうという気持ちと、ちょっと私、性格的に突っ走る傾向がありますので、やはり地域の皆さんと協力して、独りよがりにならずやっという思いを新たにしました。今後ともよろしく願いいたします。

委員：2年間、今まで経験したことがないようないろいろな話をお聞きしましたし、

やはり人間も長く生きていくと、身近なことがなかなか理解できないというところ、それからやはりいろいろな問題が起きるのは、頭では分かっていても実態的には情報に囲まれていますので、青少年問題というのをもう少し幅広い観点から考えていきたいなと思っております。また地域のいろいろな活動についても、大体高齢者を対象にやっていることが多いものですから、若い人がもう少し受けて、いろいろなことをこれからやっていかなければと思っております。どうも2年間ありがとうございました。

委員：聞こえますか。2年間でしたが、刺激が多い2年間でした。皆様どうもありがとうございました。

会長：ありがとうございました。

委員：それでは、閉会といたしますかね。

会長：事務局の課長さん。

委員：そうですね、一言お願いします。

会長：千葉課長さん、何かありますか。

事務局：皆様、2年間本当にありがとうございました。ここで本当にいいポスターもできまして、本当に建設的なご議論頂けました。市としてもこういったご意見を頂きながら皆様と一緒に地域づくりをしていくというのはとても大切なことだと思いますので、今後また御協力を賜りたいと思います。ありがとうございました。

※ 会議は開始から終了まで映像と音声又は音声が即時に全ての委員に伝わり委員相互に円滑な意見交換等ができる状態であった。

——了——